

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



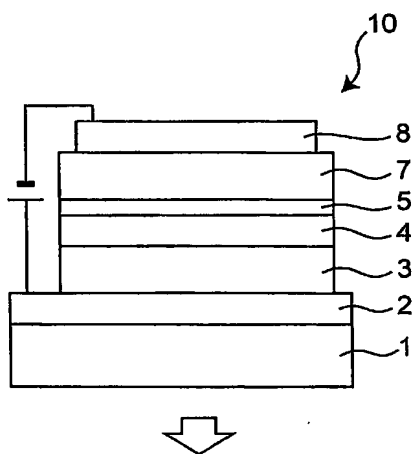
(43) 国際公開日
2005 年 1 月 13 日 (13.01.2005)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 2005/004547 A1

- (51) 国際特許分類⁷: H05B 33/14
(21) 国際出願番号: PCT/JP2004/009677
(22) 国際出願日: 2004 年 7 月 1 日 (01.07.2004)
(25) 国際出願の言語: 日本語
(26) 国際公開の言語: 日本語
(30) 優先権データ:
特願2003-190446 2003 年 7 月 2 日 (02.07.2003) JP
特願2003-190449 2003 年 7 月 2 日 (02.07.2003) JP
(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 松下電器産業株式会社 (MATSUSHITA ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.) [JP/JP]; 〒5718501 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 Osaka (JP).
(72) 発明者; および
(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 小野 雅行 (ONO, Masayuki). 堀 賢哉 (HORI, Kenya). 名古 久美男
(54) Title: LIGHT EMITTING ELEMENT AND DISPLAY DEVICE
(54) 発明の名称: 発光素子及び表示装置
(57) Abstract: A light emitting element (10) includes a positive hole injection electrode (2) and an electron injection electrode (8) opposing to each other. The light emitting element further includes a positive hole transportation layer (3), a light emitting layer (6), and an electron transportation layer (7) which are superimposed in this order from the positive hole injection electrode toward the electron injection electrode and sandwiched between the positive hole injection electrode and the electron injection electrode. The light emitting layer includes an inorganic fluorescent layer (4) whose surface is covered at least partially by an organic material (5).
(57) 要約:
発光素子 (10) は、互いに対向している正孔注入電極 (2) と電子注入電極 (8) と、前記正孔注入電極と電子注入電極との間に挟まれており、前記正孔注入電極の側から前記電子注入電極の側に向って順に積層されている、正孔輸送層 (3)、発光体層 (6)、及び電子輸送層 (7) とを備え、前記発光体層は、表面の少なくとも一部を有機材料 (5) で被覆されている無機蛍光体層 (4) を含む。

[続葉有]



発光素子 (10) は、互いに対向している正孔注入電極 (2) と電子注入電極 (8) と、前記正孔注入電極と電子注入電極との間に挟まれており、前記正孔注入電極の側から前記電子注入電極の側に向って順に積層されている、正孔輸送層 (3)、発光体層 (6)、及び電子輸送層 (7) とを備え、前記発光体層は、表面の少なくとも一部を有機材料 (5) で被覆されている無機蛍光体層 (4) を含む。



SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。